



各位

平成29年10月10日

会社名 株式会社東武ストア  
 代表者名 取締役社長 玉置 富貴雄  
 (コード番号 8274 東証第一部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 財務本部長  
 山本 秀昭  
 (TEL. 03-5922-5243)

平成30年2月期 第2四半期累計期間における連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年7月7日に公表しました平成30年2月期第2四半期累計期間（平成29年3月1日～平成29年8月31日）の連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、平成29年7月7日に公表しました平成30年2月期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

1. 平成30年2月期 第2四半期累計期間における連結業績予想値と実績値との差異  
 (平成29年3月1日～平成29年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	43,100	430	440	220	34 73
実績値 (B)	41,888	436	480	299	47 26
増減額 (B - A)	△ 1,212	6	40	79	-
増減率 (%)	△ 2.8	1.4	9.1	35.9	-
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成29年2月期第2四半期)	41,967	687	712	106	16 74

(注) 当社は、平成28年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間における連結業績につきましては、業種業態を超えた販売競争の激化等により、売上高は予想値を下回りましたが、広告宣伝費等の経費削減により、営業利益、経常利益は概ね予想値通りとなりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として見込んでおりました改装店舗の固定資産除却損が減少したこと等により予想を上回りました。

3. 平成30年2月期 通期連結業績予想の修正  
 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	86,900	1,030	1,050	450	71 05
今回修正予想 (B)	84,700	1,030	1,050	450	71 05
増減額 (B - A)	△ 2,200	-	-	-	-
増減率 (%)	△ 2.5	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成29年2月期)	83,907	1,321	1,354	256	40 52

#### 4. 業績予想修正の理由

通期の連結業績につきましては、業種業態を超えた販売競争の激化や上期の業績を踏まえ、売上高を下方修正致します。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、商品の適正な仕入と在庫管理を徹底することでチャンスロスや商品ロスを低減させ、売上総利益を増やし、また店舗オペレーションを見直して作業効率の向上を図り、経費を削減させることにより、当初公表の数値達成を見込んでおります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上